

中部支部だより 「SICE 中部支部シンポジウム2014」

高山潤也*

* 信州大学 工学部機械システム工学科 長野県長野市若里 4-17-1
 * Faculty of Engineering, Shinshu University, 4-17-1 Wakasato, Nagano, Japan
 * E-mail: j.takayama@shinshu-u.ac.jp

JL 0002/15/5402-0130 ©2015 SICE

中部支部の定例行事のひとつである SICE 中部支部シンポジウムを、信州大学 長野(工学)キャンパス・信州科学技術総合振興センター(長野県長野市)を会場として、2014年9月19日に開催した。本シンポジウムは1987年の初回以来、年1回の割合で継続開催している歴史あるシンポジウムである。開催当初から多数の地域企業の方々にご発表・ご参加をいただき、近年では学生を中心とした若手研究者による発表も増えてきている。ゆえに、活発な発表・討論をとおして、企業と若手研究者を結びつける貴重な場として機能しており、地域企業と大学による産学一体となった研究活動の活性化へもつながっている。今回もこのような伝統を継承しながらの開催となったが、本報では、シンポジウム当日のようすについて報告をさせていただく。

今年度のシンポジウムでは、特別講演1件・ミニ特別講演2件のほか、口頭4件・ポスター31件の一般発表、さらに地域企業による製品展示6件があった。参加者は、一般38名、学生52名の総計90名とほぼ例年並みの数であり、SICE 中部支部支部長である(株)豊田中央研究所の浅野勝宏氏にも参加をいただいて、盛況のうちに終了した。

午前の部では、ミニ特別講演Ⅰと口頭発表が行われた。最初のミニ特別講演Ⅰでは、信州大学繊維学部のトッドバタキ先生に、「連続対統計の応用」と題して、 n -次元ランダム性に基づく n -次元連続体モデルとその利用方法、さらにそれらの応用事例に関する解説をいただいた。続く口頭発表のセッションでは、センシング技術、制御系設計技術のほか、ロボット開発に関する内容まで多岐の分野にわたる発表が行われた。発表のようすは写真1に示すとおりであるが、限られた時間の中であったものの議論も活発になされ、発表された若手研究者の方々にとって、意義深い時間になったと考えている。

昼休みを挟んだ午後の部では、冒頭に支部長より挨拶があったのち、特別講演、ポスターセッション・製品展示、ミニ特別講演Ⅱが、順次行われた。特別講演には、群馬大学大学院理工学府の伊藤直史先生をお招きし、「逆問題解析・解法を用いた計測システム」との題目で医療における生体計測や産業における製品検査などにおける非接触・非破壊計測に有用な逆問題解法を用いた計測システムについて、CT 技術を主題にその原理から最新の研究成果に至るまでの解説を中心としたご講演を頂戴した。多くの参加者にとり大変有意義な内容であったばかりでなく、基礎から丁寧



写真1 一般講演(口頭発表)のようす

に説明していただき、学生参加者からも好評であった。

続いてポスター発表へと移った。今年度は、若手研究者を中心に、計測、計測・デバイス、生体計測、制御、ロボットの5分野から各6~7件の発表があり、終了間際まで活発に議論が交わされた。一方で聴講者の方々からは時間不足とのご意見も挙がり、来年度以降の開催に際して何らかの工夫を織り込む必要を感じた次第である。また、ポスター発表と並行し、同会場では製品展示も行われた。こちらも盛況で、学生参加者を中心に展示ブースの前に列をなし、開発者の方々の説明に聞き入っていた。最後にミニ特別講演Ⅱでは、信州大学繊維学部の秋山佳丈先生に、生体細胞を機械部品として利用するバイオハイブリット技術の説明とその問題点や解決に向けた取り組みを、「バイオと機械の融合に向けた取り組み」と題して解説いただいた。大変興味深い内容で、議論が白熱して時間を大幅超過したほどだった。

講演終了後には技術交流会を催し、特別講演を賜った先生方にもご出席をいただいて、講演の際に十分できなかった議論を行いながら親睦を深めた。また交流会の中では、SICE 中部支部シンポジウム研究奨励賞の表彰式も行われた。本賞は若手研究者による地域・社会に貢献する優れた研究活動の発展を目的としており、口頭発表ならびにポスター発表5分野より当日審査で選出された1名ずつ、計6名の発表者へと授与された。

最後に、本シンポジウム開催にあたり、ご講演をいただいた先生方ならびにご尽力をいただいた SICE 中部支部信州地区計測制御研究委員会の先生方へ厚く御礼申し上げるとともに、ご協力を頂戴した(財)長野県テクノ財団浅間テクノポリス地域センターへ感謝の意を表したい。

(2014年12月25日受付)